



図書館つうしん



図書館トピックス

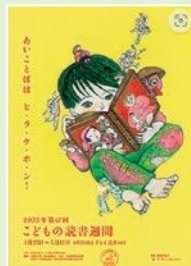
前国東市図書館長退任あいさつ

この度、3月末日をもって国東市図書館長を退任することになりました。
市民の皆さまには、約7年の間温かな励ましをたくさん頂き、感謝しております。
今後も国東市図書館をよろしくお願い申し上げます。
(松本智恵美)



4/23(水)～5/11(日) こどもの読書週間

「あいことばは ヒ・ラ・ケ・ホ・ン!」のキャッチフレーズで期間中は市内各図書館にてブックリサイクルや楽しいイベントを実施します。
5月3日(土)・4日(日)は開館します。



国見図書館の読み聞かせボランティアの紹介

・箕迫 美根子 さん
・井上 美智代 さん

たくさんのお子
たちが笑顔になる
声の温もりを届けたい
と思います。国見図
書館で毎月第2土曜日に
お待ちしております。



図書館イベントカレンダー

- 4月10日(木)** あかちゃんおはなし会
午前11時 くにさき図書館
※4月から予約制となります。直前の日曜日(4日前)までに事前申し込みをお願いします。
- 4月12日(土)** おはなし会
午前11時 国見図書館
くにさき図書館
武蔵図書館、安岐図書館

休館情報

- 毎週月曜 図書館休館日
4/29(火) 昭和の日
4/30(水) 月末整理日(※毎月最後の平日は整理日で休館)
※5月5日(月)・5月6日(火)は休館します。

子どもの読書週間行事は4町の各図書館で同時に開催します!

- ・春のおたのしみおはなし会
5月10日(土) 午前11時～
子どもの参加者に駄菓子プレゼントがあります(先着25人)。
- ・チャレンジイベント
4月23日(水)～5月11日(日)
チャレンジに成功すると景品がもらえます!

ルーレットを
回せ!
国見図書館

あいことばは
「ひらけひらけ!」
くにさき図書館

どくしょで
ゲット!春
武蔵図書館

えらんで 回して
ひらけ!ガチャ
安岐図書館

学校図書館の推し本

『むかしむかしあるところに、死体がありました』

青柳 碧人/著 出版/双葉社

昔話の世界を舞台に巻き起こる事件の謎を解き明かす短編集。だが、昔話とあなどるなかれ「めでたしめでたし」では終わらない本格ミステリー作品です。密室トリックやダイイングメッセージなど、さまざまな手法によって物語が展開されていきます。

なじみ深いはずの昔話を思わず読み返したくなるような推理小説。舞台が昔話なので、小説が苦手な人でも読みやすいと思います。

- 問 国見図書館 ☎82-1585
くにさき図書館 ☎72-3500
武蔵図書館 ☎69-0946
安岐図書館 ☎67-3551

こころをつなぐ 人権シリーズ



シリーズ部落差別の問題③

人災を起こさない

文責：社会教育課安岐地区 矢野 之英

なことが書かれていました。

国東市では、差別のない、明るく住みやすい国東市となるよう、5年ごとに『人権に関する市民意識調査』を実施し、その結果をより効果的な人権施策につなげています。今年度はその調査年に当たります。そこで、前回2020年度調査結果から、今の部落差別の問題がどんな危険性をはらんでいるのか考えてみました。

「あなたは部落差別の問題(同和問題)を知っていますか」に対し、92.3%と大多数の人が「知っている」と回答しています。では一体どのようにして知ったのでしょうか。

「部落差別の問題(同和問題)」について、あなたがはじめて知ったのはどんなきっかけですか」に対し、「家族や親戚から聞いた」がトップで34.7%、これに「近所の人、友だちや知り合い、職場の先輩や同僚、雑誌やインターネットなどから」を含めると56.1%にもなり、「学校や研修会で知った」の38.0%を大きく上回ります。気に留めたいのは、56.1%もの人たちが、そこで知り得た情報だけを鵜呑みにしていないかということです。実はその頃の新聞の特集記事に次のよう

「関西のある市では、中学生たちのSNSで被差別部落出身とみなされている生徒を誹謗中傷する言葉が頻繁に交わされているそうです。身近な大人たちが陰で子どもたちに話しているのです。」

これは、偏向的な情報を信じ込んだために生じた負の連鎖です。そして人は、心に強いいらだちや不満・不安を抱えていると、そのはけ口を自分より弱い立場の人に向けての傾向があり、これに集団心理が働くとさらにエスカレートします。それは、日本人がコロナ禍や地震などの天災で経験した歴史にもあります。昨年、国東市は台風という天災に見舞われました。天災はこれからも起こるかもしれません。しかし、天災に伴ったデマや噂、いじめ、嫌がらせなどの人災は絶対に起こしてはならないし、起こさないことはできるはずです。そのためには、過去の歴史・教訓から正しく学ぶことが不可欠だと考えます。部落差別の問題も歴史上作り上げられてきた制度上の人災が、変化しながら、今も存在し続けているのではないのでしょうか。



教育の里 あらかると

富来小学校 補助風保存会と風あげ交流会

富来小学校の1、2年生21人と松原地区の補助風保存会が風あげを通じた交流会を行いました。はじめに、保存会会長の松吉鈴美さんが補助風の由来や歴史などを説明しました。その後グラウンドに出て、子どもたちは、元気いっぱいにグラウンドを駆け回りながら風をあげていました。

野上惺汰さん(2年)は「校舎より高く飛ばすことができました」と笑顔を見せていました。松吉会長は「子どもたち同士で風を揚げるのを手伝う思いやりの光景が毎年見られてうれしい。補助風の歴史をたくさんの方に知ってもらいたいのので、これからも保存会の活動を継続していきます」と話してくれました。

